

亀井勝一郎 評論家。共産主義から転向、戦時期に日本浪漫派中心で、<敗戦>後も日本的なものを模索し、絶大な人気。

かめいかついちろう

韓国反日暴動1907 = 北海道生れ。当時、父喜一郎は函館貯蓄銀行の支配人であった。

明治天皇没・1912 = 5歳 :

民本主義・・1916 = **9歳** :

原敬首相暗殺1921 = 14歳 :

関東大震災・1923 = 16歳 : 旧制山形高に入学。

ドイツ語を通してゲーテ、ハイネの作品に親しみ、また、**共産主義思想に関心を寄せる。**

治安維持法・1925 = **18歳** :

日本時代始・1926 = 19歳 : **東大に入学、中野重治らを知り、新人会会員、共産青年同盟員として活躍。**

共産党事件・1928 = 21歳 : **検挙投獄される。**

海軍軍縮条約1930 = 23歳 : **出獄、日本プロレタリア作家同盟(ナルプ)に所属して評論家として再出発するが、**

満州事変・・1931 = 24歳 :

帝人疑獄事件1934 = **27歳** : **同盟が解散し、同人雑誌(現実)を創刊。「転形期の文学」、**

芥川直木賞始1935 = 28歳 : **保田与重郎らと(日本浪漫派)を創刊、転向以後の自我再生の道を模索する。**

日中戦争始・1937 = 30歳 : 「人間教育」にいたる思索の過程に、転向者としての苦悩が如実にうかがえるが、

やがてそれが宗教的回心となり、

日米開戦・・1941 = 34歳 :

・・・・・1942 = 35歳 : ***時代を画する討論会"近代の超克"のメンバーで、**

創価学会検挙1943 = **36歳** : 「大和古寺風物誌」を刊行。

仏教への関心、日本の古典への傾斜は、戦争協力の態度を生んだが、

敗戦・・・・1945 = 38歳 :

日本的なものの模索は戦後も続けられ、

極東裁判決・1948 = 41歳 : 「現代人の遍歴」、

独立回復・・1951 = 44歳 :

メテ-事件・1952 = **45歳** :

55年体制始・1955 = 48歳 : 遠山茂樹らの「昭和史」と井上清らの「日本近代史」を人間不在の歴史と批判、論争がおこなわれる。

美智子妃・・1959 = 52歳 : 安保批判の会に参加。***ライフ・ワーク「日本人の精神史研究」の連載開始、**

安保闘争・・1960 = 53歳 :

ついでついで病始・1961 = **54歳** :

いざなぎ景気1966 = 59歳 : ***「日本人の精神史研究」が大きな業績となって、没した。**